

南予ブロック精神保健 ボランティア交流研修会開催

6月23日、南予ブロックの精神保健ボランティア会員90人が等妙寺に集まり、交流研修会が開催されました。

交流会では、等妙寺の歴史等について生涯教育課職員に説明をうけたあと、日ごろのボランティア活動について意見交換会が行われました。

会員になって初めのころは、「精神疾患の方」というと「怖い」というイメージが強く、どう付き合ったらよいか戸惑ったという意見が多くありました。しかし、いろいろな機会を通して接するうち、気軽に声かけできるようになったようです。

鬼北町では、平成17年に精神保健ボランティア「つつじ」が発足しました。

精神保健ボランティア「つつじ」は、「地域での精神障害者に対する偏見をなくし、障害があっても鬼北町で健やかに暮らせる町づくり」を目指して設立されたボランティア団体です。現在、会員27人で、精神障害者や身体障害者等とふれあいながら、わかば作業所のお手伝いや偏見をなくすための活動を精力的にさ

れています。

まだまだ、精神障害者に対する偏見が強く、「ボランティアはしたいが何からしたらよいかわからない」という方も多いと思います。しかし、「声かけボランティア、見守りボランティア」から始めてみませんか。そして、障害があっても健やかに暮らせる鬼北町をみんなで作っていきましょ。

●問い合わせ

役場 保健福祉課 保健係

☎ 45・1111 内線621



→ 職員の説明を聞く会員

第26回武左衛門ふる里まつり

1793年、農民・武左衛門が吉田藩の圧政に対して起こした一揆の精神を引き継ぐと始

まった「武左衛門ふる里まつり」。

今年も、一揆を再現する行列、小学生の武左衛門太鼓、盆おどり、分館ショー、出店、花火の打ち上げを行う予定です。

ぜひ、ご家族、お友達などとお越しください。

行列に参加

希望の方は、実行委員会事務局までご連絡ください。



●日時 8月14日(土)17時30分

●場所 日吉夢産地(下鍵山)

●問い合わせ

実行委員会事務局日吉公民館内

☎ 44・2211

身に覚えのない請求に ビックリ!!

パソコンや携帯電話の トラブルについて

パソコンや携帯電話の普及に伴いインターネットの利用者が増加している中、「まったく身に覚えのない料金が請求された」、「クリックしたら、いきなり登録完了画面になった」などの相談が報告されています。

平成21年度に県消費生活センターに寄せられた相談の中でも、「オンライン等関連サービス」に係る相談が最も多くなっています。

また、最近では、未成年者が携帯電話を持っていてから、未成年者がトラブルに遭うケースもあり注意が必要です。

●被害にあわないために

全く契約した覚えがなければ、料金請求や登録と表示されても支払う必要はありませんので、無視しましょう。

慌てて業者へ連絡することは個人情報を知らせることになり、ますので絶対にやめましょう。

広告で「無料」が強調されている場合でも、サイトの利用にはパケット通信料がかかり、結果的に多額の請求になってしまいうこともありま。利用の際には、これらについてきちんと確認しましょう。

未成年者が利用する場合には、親子でルールを決めるなど適正に利用するようにしましょう。

●問い合わせ

役場 産業課 商工観光係

☎ 45・1111 内線263

愛媛県消費生活センター

☎ 089・925・3700